**第３学年１組　国語科学習指導案**

１　**単元名・教材名**　言葉　ローマ字

２　**本時の学習指導**　（本時１／２）

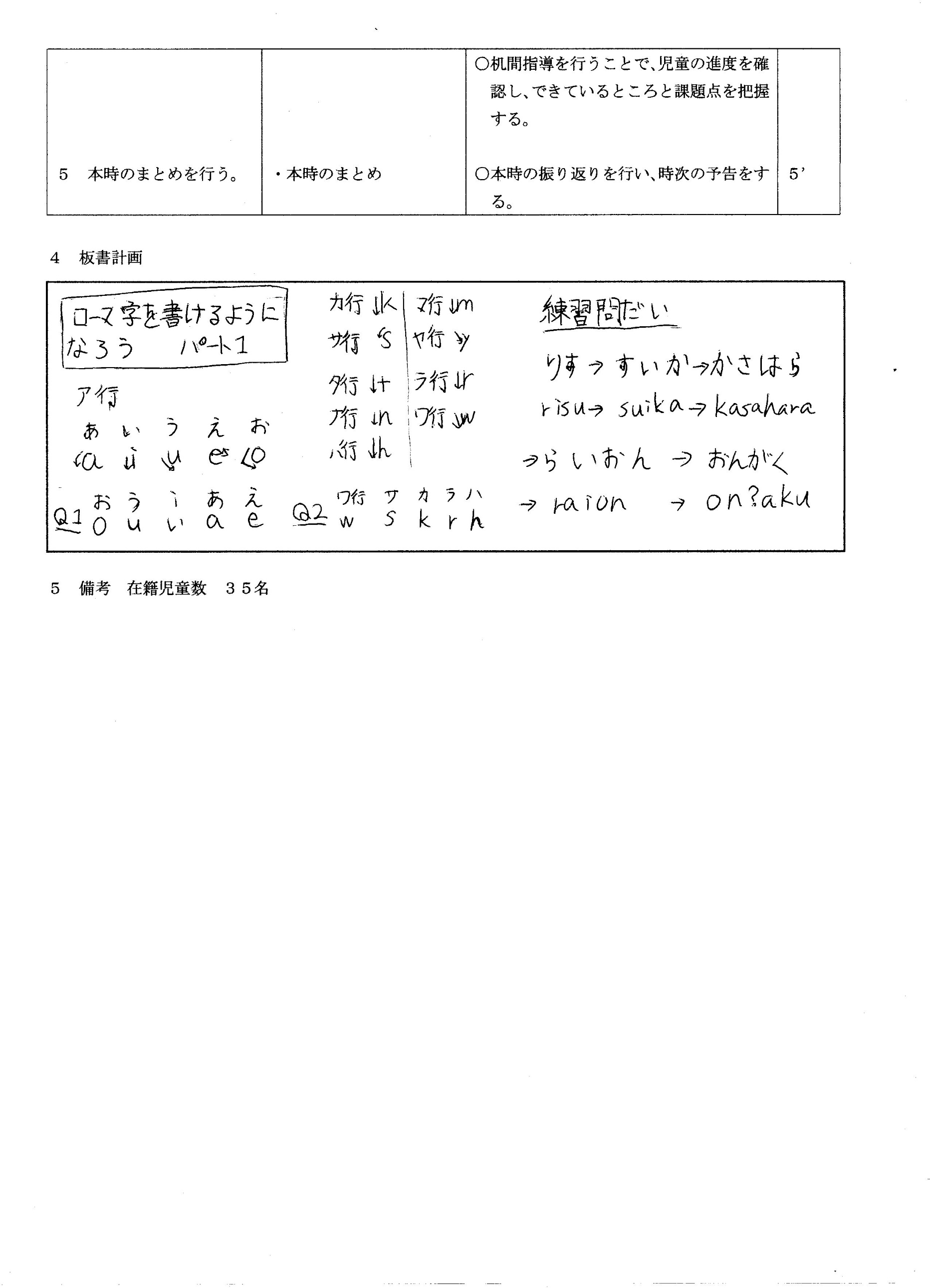
（１）目標

　　○ローマ字に興味を持ち、基本的なローマ字を書くことができる。

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習活動** | **学習内容** | **指導と評価の創意工夫** | **時間** |
| １　本時の学習活動をつかむ。  ２　ア行の表記を学ぶ。  ３　五十音のアルファベットの配列を理解する。  ＜予想される児童の反応＞  ・か、さ、た、を伸ばすと全部最後が「あ」になっている。  ４　子音の表記を学ぶ。  ４　練習問題を行う。  ５　本時のまとめを行う。 | ・本時の学習課題  ローマ字を書けるようになろう　パート１  ・アルファベットの読み方と書き順  ・フラッシュカードを用いて確認  ・教科書p120,121のローマ字表  ・アルファベットの読み方と書き順  ・フラッシュカードを用いて確認  ・２～５文字程度の練習問　　　　題  ○ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。  →練習問題に積極的に取り組み、他の児童のローマ字も確認しようとする。【関心・意欲・態度】  ○ローマ字表記の基本を理解し、簡単な単語を、読んだり書いたりしている。  　→練習問題を行ったノートを確認し、８割以上正解している。【言語活動】  　（机間指導による考察）（ノートによる考察）  このような姿が見られれば、「おおむね満足できる状態である」と判断できる。  ・本時のまとめ | ○身の回りのローマ字を用いて、導入を行うことで、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。  ○黒板で書き順を確認し、空書きをさせてからワークシートに記入させることで、正しい書き順を覚えることができるようにする。  ○あ～おのひらがなを提示し、児童に黒板へアルファベットで書かせることで、確認できるようにする。  ○母音を伸ばさせることで、配列の規則性を見付けることができるようにする。  ○行の規則性を見付けさせることで、表全体の仕組みを理解できるようにする。  ○ア行と同様に行う。  ○ア行と同様に行う。  ○黒板に問題を書き出し、児童に取り組ませ、知識の定着を図り、活用できるようにする。  ○机間指導を行うことで、児童の進度を確認し、できているところと課題点を把握する。  ○本時の振り返りを行い、時次の予告をする。 | ５’  ５’  ５’  ５’  ５’  ５’  １０’  ５’ |

４　板書計画



５　備考　在籍児童数　３５名